

し  
知るほど  
なるほど  
み はる  
三春ダム!



さくらの里で、地域とともに。



三春ダム



# 三春ダムについて

わたしが  
三春ダムについて  
おしえてあげるね。



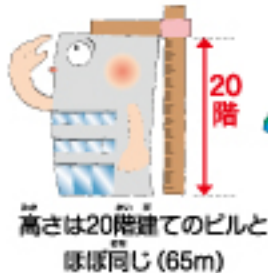
さくら湖って  
こんなに  
大きいんだよ!



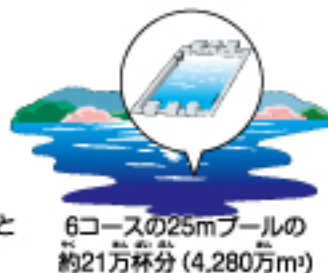
●さくら湖の広さは?



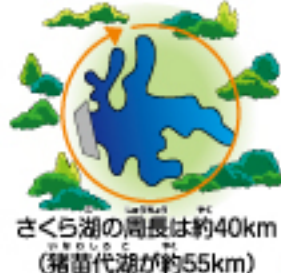
●三春ダムの高さは?



●さくら湖の水の量は?



●さくら湖の周長は?



# 三春ダムは、何をしてるの？

① 洪水からみんなを守ってくれるよ。

② 川の自然な姿を守っているよ。

③ 水を貯めて、生活や工場、田畑に使っているのよ。



# ① 洪水からどうやって守ってくれてるの？

大雨が降ると、さくら湖に水を貯めて洪水が起きないように、少しずつ流します。

ダムがない場合



たくさんの水が流れて洪水が起きます。

ダムがある場合



ダムは水を貯めて少しずつ流します。

ダムがあるとみんな安心だね！



ぼくたちは知らないところで三春ダムに守られていたんだね！

## ② 川の自然な姿を どうやって守っているの？

雨が降らないときでも、川の水が枯れないように、  
貯めた水を流して川の姿を守ります。

ダムが  
ない場合



晴天が続くと、  
植物が枯れて生物も元気がなくなります。

ダムが  
ある場合



雨が降らない時でも、  
植物や生物が元気な美しい川をつくれます。

川に水があると、  
植物や魚も元気なんだね！



## ③ 水を貯めて、 何に役立ててるの？

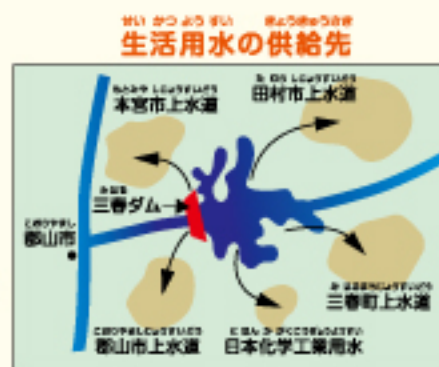
さくら湖に貯めた水は、生活や工場・田畑に使います。



生活



田畑



工場

僕たちは  
さくら湖の水を  
飲んでいるんだよ！



# 大切な水を守る

三春ダムでは  
こうして水を守って  
いるのよ!

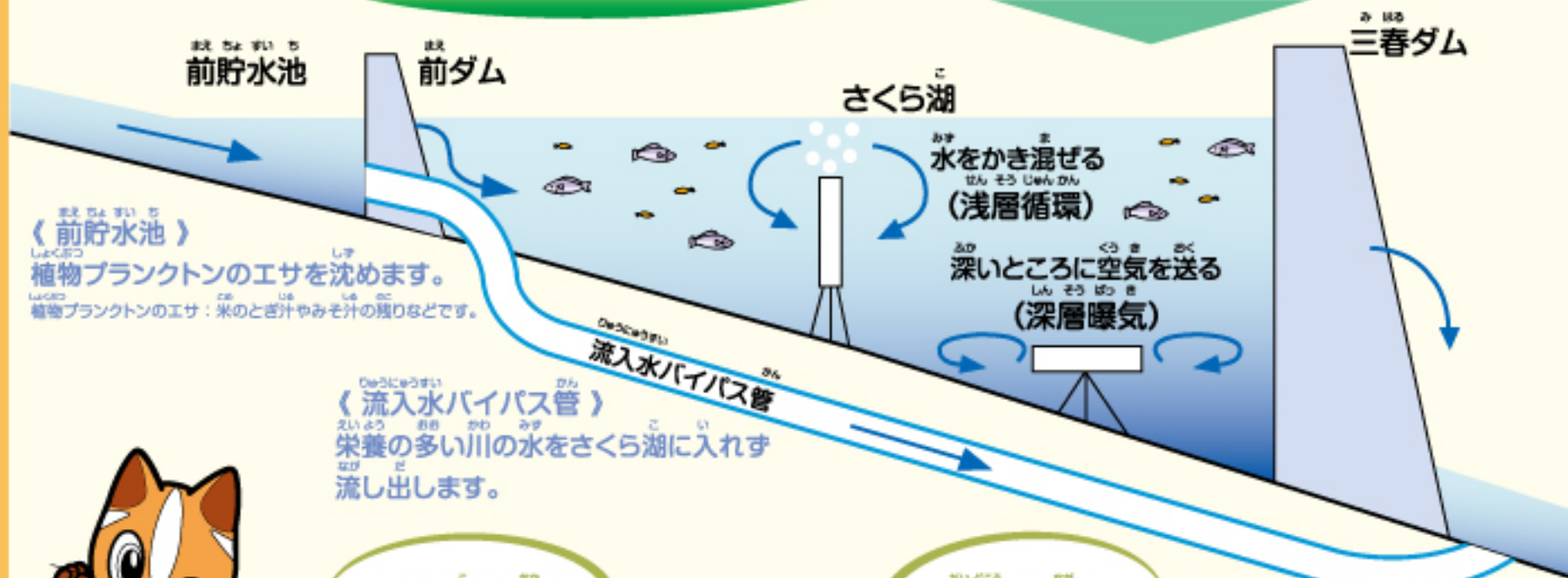


栄養が多い水が入ってくると  
日が出て水温が上がり  
植物プランクトンが増えます。



植物プランクトンが増えすぎると  
魚の元気がなくなり、水においをつけたりします。

植物プランクトンが増えるのを防ぐため、  
空気で上下の水を混ぜて水温を下げます。



前貯水池

植物プランクトンのエサを沈めます。  
植物プランクトンのエサ：米のとぎ汁やみそ汁の残りなどです。

流入水バイパス管  
栄養の多い川の水をさくら湖に入れず  
流し出します。

さくら湖

水をかき混ぜる  
(浅層循環)  
深いところに空気を送る  
(深層曝気)

三春ダム

さくら湖の中は、  
こんな仕組みに  
なっていたんだね!

台所から流す  
排水にきをつけたり、  
私たちにもできることが  
たくさんあるわね!



# みんなで

# 日本一美しいさくらの里をつくろう。

## 「さくら湖水源地域ビジョン」

山や湖、里山の宝を活用しよう。

水を大切に使おう。

ゴミをなくして  
きれいな里にしよう。

どんな生物がいるか  
調べてみよう。

みんなで美しい  
さくらの里を  
つくっていきましょう。

三春ダムは、みんなと  
「さくら湖水源地域ビジョン」に  
取り組んでいるよ。

### 【3つのテーマ】

- ①地域の自然を知り、  
守り育てる。
- ②地域の資源を、  
活かす。
- ③地域をつなげ、  
発信する。

さくら湖流域を流れる川の水質、生き物、森林や田畑などのことを調べ、長く知り、未来まで守り育てていこう。

さくら湖流域の祭りなどの歴史、文化、たくさんの桜の木などを大切に、みんなの宝物として確かに伝えていこう。

さくら湖流域に暮らす人々の強いつながりを、みんなでちからを合わせて、全国に元気をアピールしよう。





あはる しゅうへん せんとい  
三春ダム周辺案内



さくら  
自然観察ステーション



さくら  
海蔵



さくら  
公園



三春の  
栗田養生生活館



三春ダム  
資材館



内山森林公園

三春ダムの歴史

- 昭和43年12月 予備調査を開始しました。
- 昭和63年11月 ダム本体工事が始まりました。
- 平成4年12月 コンクリート打設が終わりました。
- 平成8年10月 試験湛水を始めました。
- 平成10年3月 三春ダムが完成しました。

私たちの里で、地域とともに。



三春ダム

国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所

T983-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4  
TEL.0247-62-3145 FAX.0247-62-3170

三春ダムwebサイト リアルタイム情報配信中!

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>